

マニュアルCMSとドキュメント配信ポータルで DXPを実現！

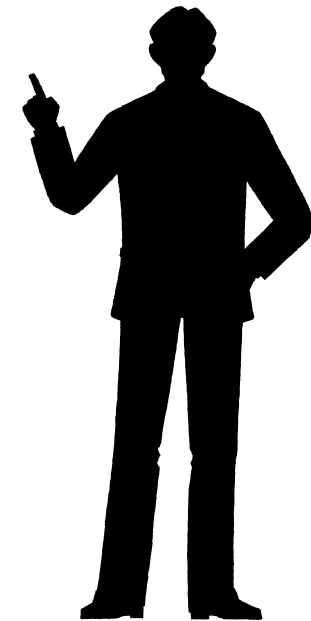
既存コンテンツもそのまま使える、安心・安全の純国産システムによるパーソナライズド配信



2026/8/28

株式会社サイバーテック
ソリューション営業本部
戸田 光彦

会社概要



事業概要

XML(構造化ドキュメント技術)とノンカスタマイズ(ベストプラクティス)開発により、安心・安全の純国産ソフトウェア製品を提供します。



株式会社サイバーテックについて



Manual & Web Solutions

会社名 : 株式会社サイバーテック (CyberTech corporation)
代表者 : 橋元 賢次
設立 : 1998年9月8日
資本金 : 5,000万円
所在地 : 【本社】 東京都渋谷区道玄坂1-20-1 Osawa Bldg.5F
【セブ R&Dセンター】 フィリピン セブ島

マニュアルDX

読んでもらえるマニュアルに！

マニュアル作成システム「**PMX**」やコンサルティングにより、
マニュアルの品質向上とユーザーロイヤリティ向上を実現します。



DXPソリューション

簡単にパーソナライズド配信！

ドキュメント公開システム「**DocuPortal**」やWeb CMSにより、
素早く簡単にポータルサイトをご提供します。

DocuPortal

プロフェッショナルサービス

制作や販促を強力に支援！

Webサイト運用やデータの構造化設計～移行、ライティング支援や
AIデータの前処理などを高品質かつリーズナブルに行います。



マニュアルDX事業～読んでもらえるマニュアルにします！

マニュアルを
読んでもらえない！



**サポート工数
削減**

**ユーザロイヤリティ
向上**

**制作/翻訳コスト
の削減/内製化**

読んでもらえる
マニュアルに！



マニュアル診断・評価

- ・無料簡易診断
- ・有料診断レポート



マニュアル コンサルティング

- ・スタイルガイド（制作基準書）の作成
- ・目次構成の見直し（構造化）
- ・レイアウトやデザインの改善提案
- ・制作プロセスの改善提案



DTPツール



マニュアル CMS

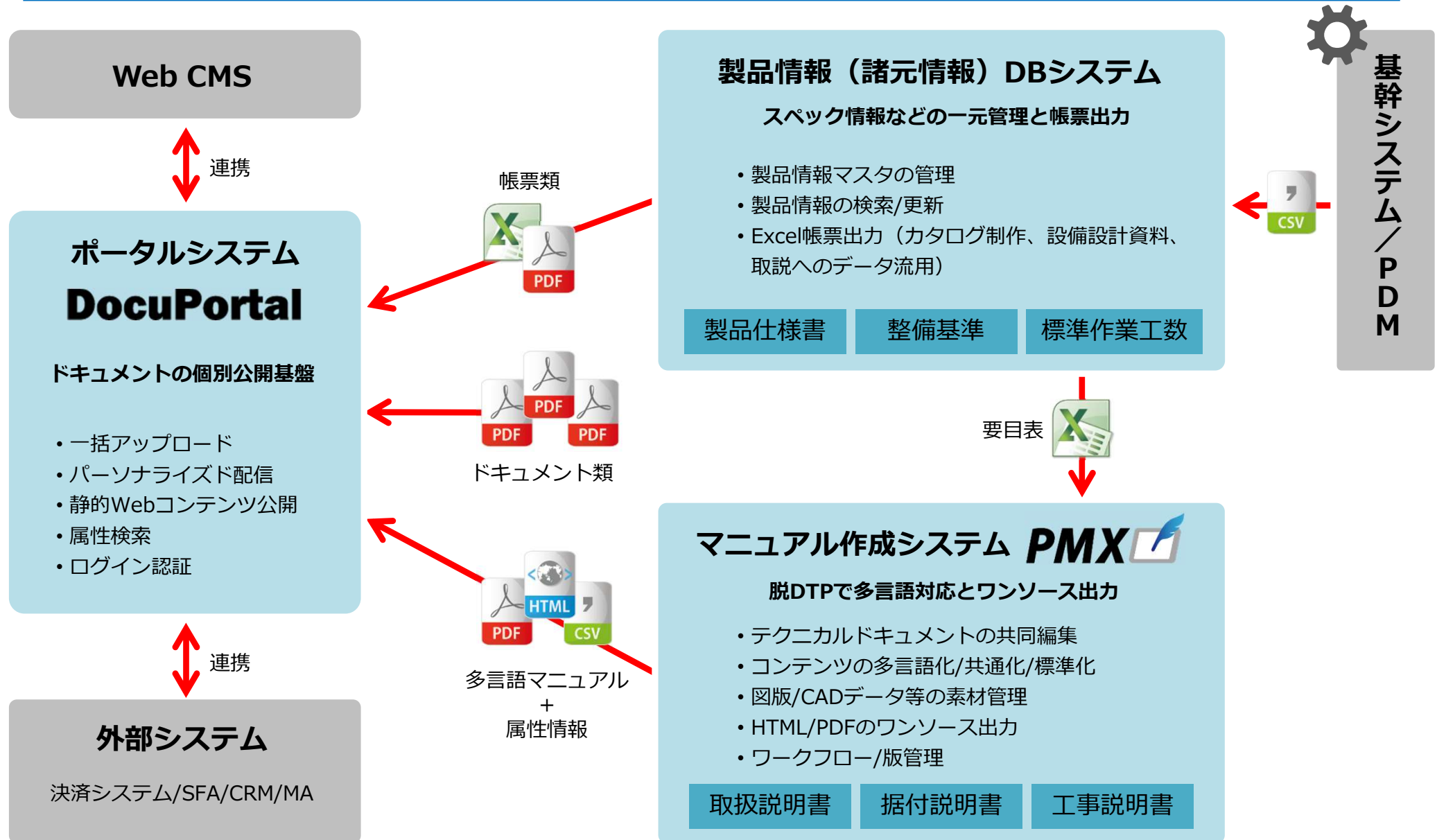
- ・分業化（脱 属人化）
- ・多言語化
- ・ワンソース配信



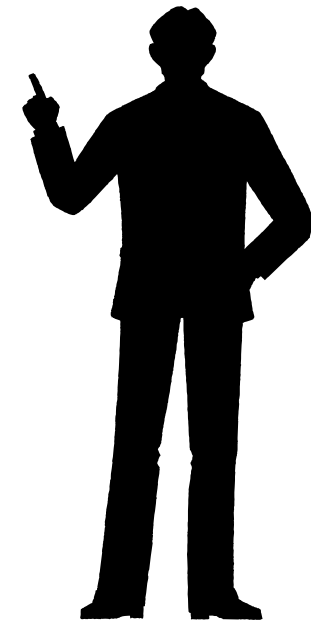
ドキュメント配信・配布

ポータルシステム **DocuPortal**
Web CMS

DXPソリューション事業～最終製品メーカーの情報公開をサポート！



PMXのご紹介



近年の製品マニュアルをとりまく課題

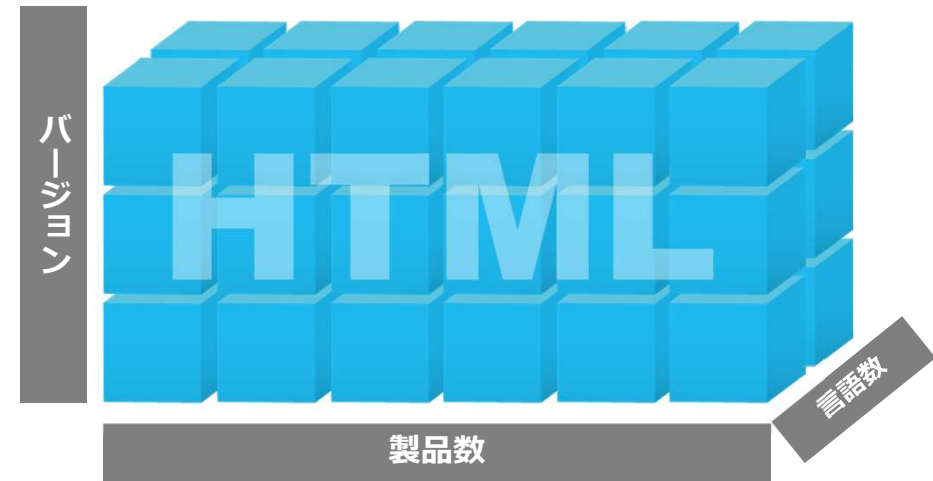


- ライティング担当者の属人化を解消したい！
- 多言語化したいが、翻訳コストは削減したい！
- サポート対応を減らし、ユーザ満足度も向上させたい！

これらの課題を解決し

「読んでもらえるマニュアル」 にしませんか？

CMSが向いているマニュアルとは？



- ☑ ページ数が多い
- ☑ 類似機種が多い
- ☑ 重複コンテンツが多い
- ☑ 複数言語で展開
- ☑ 改訂が発生
- ☑ HTMLとPDFが必要

★★ 課題が2項目以上あれば 効果あり! ★★

現実的ではありません！



マニュアル作成支援システム「PMX」で解決できる3つの課題

属人的な現状をカイゼンして、コンテンツの再利用率を上げたい！

1

分業化

役割を分担して属人化から脱却、コンテンツの再利用率も向上！



Wordライクなエディターで担当箇所をライティングすることで、分担作業とコンテンツの再利用率が向上し、**属人的な制作フローから脱却**できます。Webブラウザで操作できるため、テレワークとの親和性が高く、ハイスペックPCも不要です。

多言語展開したいが、改訂品質や翻訳コストが気になる！

2

多言語化

コンテンツの部品化とAI翻訳でリーズナブルに多言語展開！



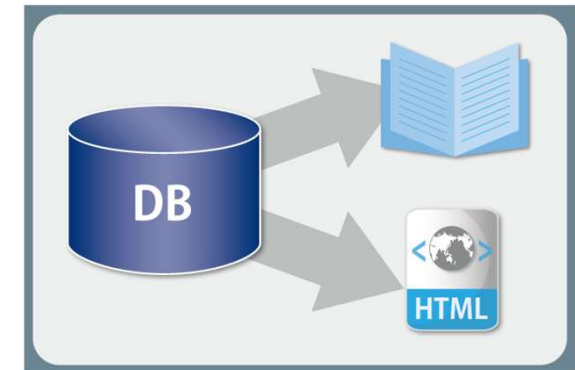
多言語マニュアルの作成～改訂管理は非常に煩雑ですが、「PMX」ではコンテンツの部品化と再利用により、**改訂運用の品質向上**を実現します。さらに、**AI翻訳やCATの活用**により、スピーディかつ低コストでマニュアルの多言語化が行えます。

HTMLマニュアルをメインとしたいが、PDFデータも必要！

3

組版と電子化

ワンソースからHTMLマニュアルと印刷にも使えるPDFを一括出力！



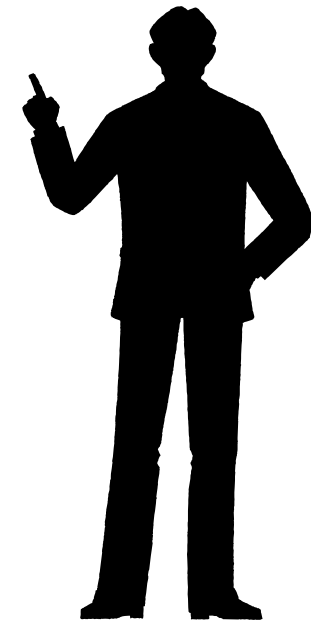
「PMX」では、コンテンツを一元管理しているため、HTML形式による電子マニュアルや自動組版によるPDFを**ワンソースで出力**できます。また、**動画の活用**によりサツと理解することが求められるオペレーションマニュアルなども作成できます。

3つの課題

分業化

多言語化

組版と電子化



ディレクターとライターによる分業で「脱 属人化」

The screenshot displays the PMX web editor interface. On the left is a sidebar with navigation links: ホーム (Home), トピック (Topic), 素材 (Material), マップ (Map), 出力指示済データ (Output instructed data), 承認フロー (Approval flow), スタイルシート管理 (Style sheet management), Webフォント管理 (Web font management), and PDF出力設定 (PDF output settings). The main content area shows a tree view of a '製造業マニュアル' (Manufacturing manual) with a red box highlighting the '安全上のご注意' (Safety precautions) item. An orange callout bubble points to this item, stating: ①ディレクター：目次作成 ⇒ 該当URLをライターに (Director: Create table of contents ⇒ Pass the corresponding URL to the writer). The main editing area has a top bar with buttons for '翻訳依頼' (Request translation), '再申請' (Re-apply), '複製...' (Duplicate...), and 'バージョンアップ...' (Upgrade version...). Below this is a tabbed interface with '属性情報編集' (Edit attribute information) selected. A red box highlights the editing area, which includes a rich text editor with various formatting options (bold, italic, underline, etc.) and a table of safety warnings. An orange callout bubble points to the editing area, stating: ③ライター：Wordライクなエディタで作成 (Writer: Create with Word-like editor). Another orange callout bubble points to the '安全上のご注意' item in the tree view, stating: ②ライター：ロック解除 (Writer: Unlock). A final orange callout bubble points to the '安全上のご注意' item in the editing area, stating: ④ディレクター：ライティング内容を手直し (Director: Revise writing content). The bottom right corner of the editing area shows a table with safety warnings.

①ディレクター：目次作成
⇒ 該当URLをライターに

②ライター：ロック解除

③ライター：Wordライクなエディタで作成

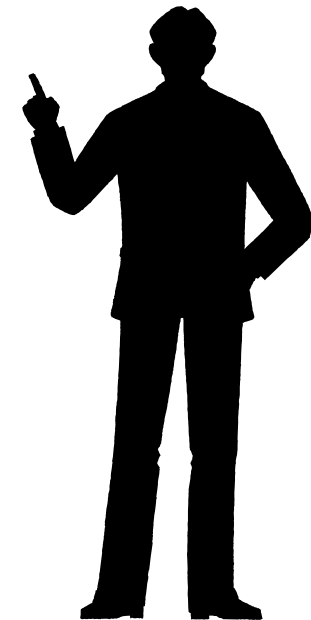
④ディレクター：ライティング内容を手直し

3つの課題

分業化

多言語化

組版と電子化



マニュアルの多言語化とCMSとの関係

グローバル展開による多言語化ニーズの拡大

- 複数言語も「日本語 ⇒ 英語 ⇒ 多言語」の流れで展開！
- 中国語や韓国語などの場合、日本語から展開する事も可能！



CMSで言語ごとの関連情報を管理！

ニューラル機械翻訳の劇的な性能向上

- 部品化～共通化で、機械翻訳による翻訳精度向上！
- 翻訳メモリの活用と人手調整により、改訂コスト削減！



CMSと親和性の高い機械翻訳を最大限活用！

AI翻訳機能～新規翻訳

特長

- 多言語翻訳を、レイアウト情報そのままに実現。
- トピック単位も、ブック一括で丸ごと翻訳も可能。

AI翻訳を活用するメリット

手軽さ

迅速さ

大量の翻訳

多言語対応

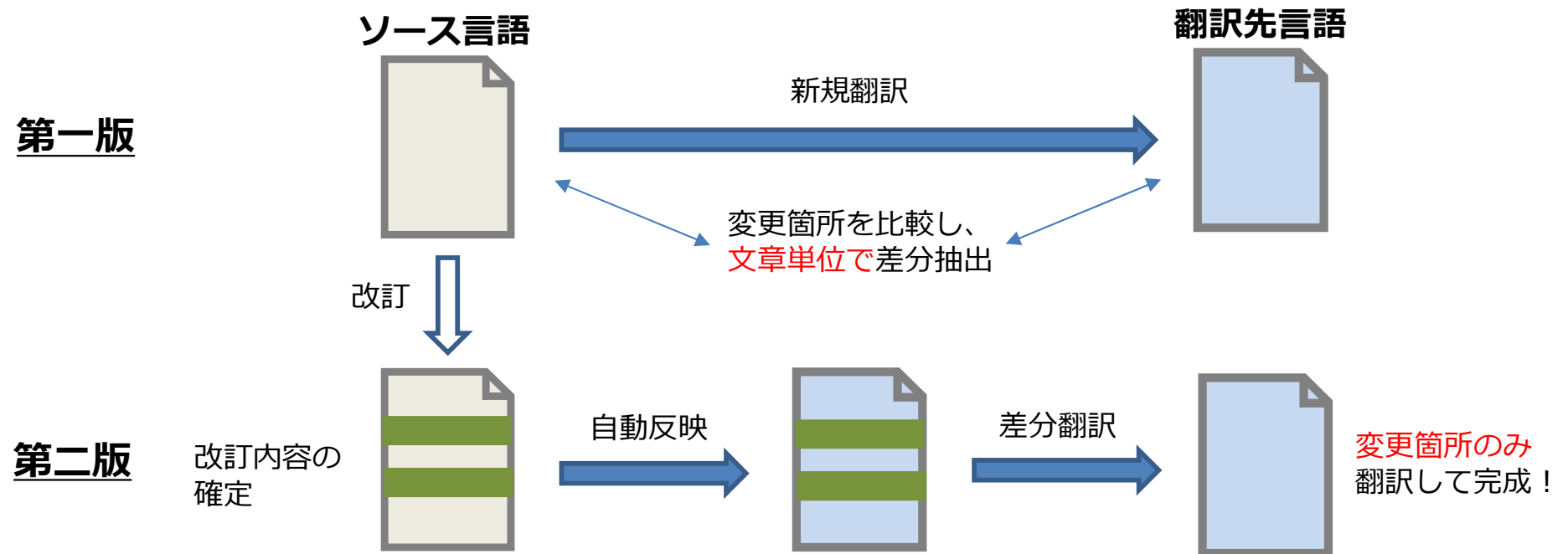
注 意

- ・ 原文と訳文の組み合わせで精度が異なる。
- ・ 人手による最終調整（ポストエディット）の実施を推奨。

AI翻訳機能～差分翻訳

特長

- 翻訳メモリにより、改訂前後の差分情報をセンテンス単位で抽出。
- 未改訂部分は従来の訳文を反映するため、翻訳品質の向上とコスト削減を実現。

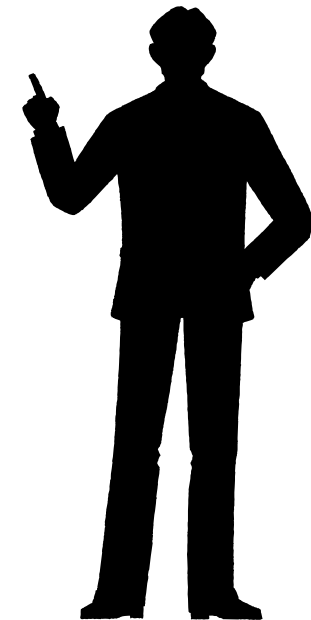


3つの課題

分業化

多言語化

組版と電子化



Webマニュアル化が進む理由

- ❖ ❶ 紙では配布コストもかかり、持ち歩きも困難。
⇒電子化によって軽量化が可能！
- ❖ ❷ 紙では目的の箇所に素早くたどりつけない。
⇒PDFにすれば検索が可能！
- ❖ ❸ 巨大なPDFでは高スペックの閲覧用端末が必要。
⇒HTML形式で見たいページのみ閲覧可能！



HTMLマニュアルのみ準備すればOK？

しかしながら・・・PDFもまだまだ必要！

① いつでも印刷可能

- ・俯瞰的に見れる
- ・現地代理店からの冊子要望（新興国やネット環境が無い場所など）
- ・査読用に印刷して回覧
- ・認証取得の要件として必要

② 物理的な納品物として

- ・マニュアルを「届ける」ためには必須 ※情報公開だけではNG

③ トラブル発生時の対応

- ・エビデンスとして利用など



※CEマーキングの「基本的な健康と安全の要件 Essential Health and Safety Requirements (EHSRs)」では、一般的に紙での提供が必要。

製造業マニュアルのテンプレート例

▼PDF

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●▲注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
●安全上のご注意、取扱説明書は、お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

	必ず実行していただくこと（強制）を示しています。
	正しくお使いいただくために、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって、傷害が起こる可能性を示しています。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示しています。

海外への持ち出しに関する注意事項

- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。
- ・本製品の日本国外での使用については、当社は責任を負いかねます。

●本取扱説明書の著作権

取扱説明書の著作権は株式会社サイバテックに帰属します。権利者の許諾を得ることなく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改版することは、著作権法上禁止されており、但し、商業取引以外の個人的用途に用いる場合にのみ一部を複製することは、この限りではありません。

▼HTML

PMX

ABCシリーズ取扱説明書

ABCシリーズ取扱説明書

●安全上のご注意

●本取扱説明書の著作権

1 ABCシリーズ 取扱説明書

2 ABCシリーズ 機能説明

3 ABCシリーズ 操作説明

ご相談窓口

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●▲注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
●安全上のご注意、取扱説明書は、お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

	必ず実行していただくこと（強制）を示しています。
--	--------------------------

© Copyright 2024 CyberTech corporation All Rights Reserved.

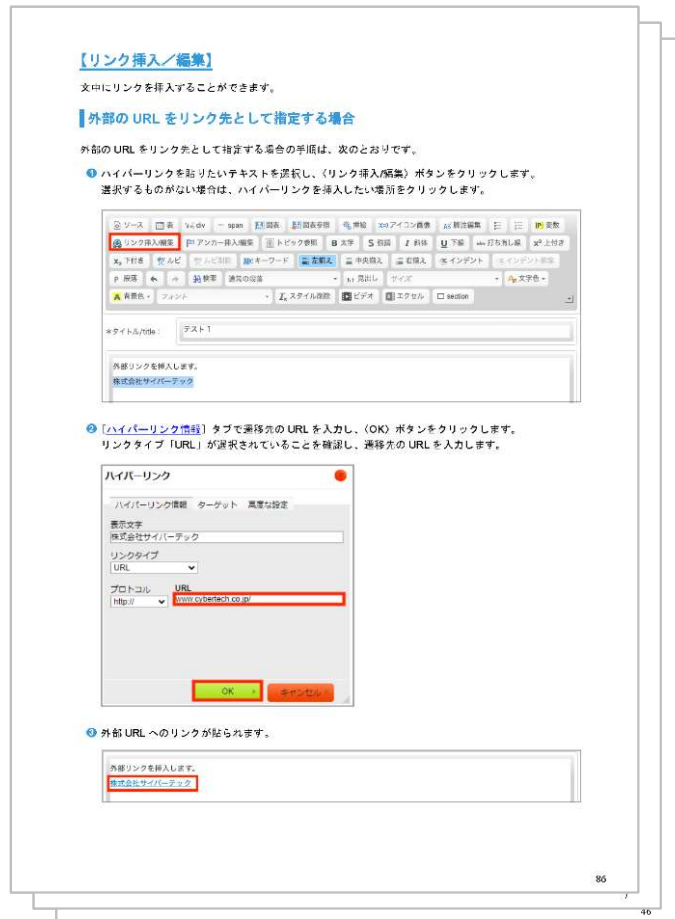
このようなマニュアルがワンソース出力できます！

※PDF換算で数千ページ



PMXのマニュアルも、PMXで作成しています！

▼PDF



▼HTML



このようなマニュアルがワンソース出力できます！

※PDF換算で約450ページ



マニュアル作成支援システム「PMX」

分業化

多言語化～組版と電子化

ワンソース出力

脱 属人化

再利用率向上

標準化/平準化

構造化



入稿・修正



編集



翻訳・PE



ダウンロード

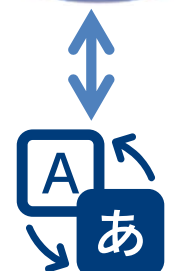


DocuPortal

ワンソース
出力



外部Webサイト



AI翻訳・
CATツール

マニュアル用CMSとして見た「PMX」について

■ DITA的な視点～コンテンツの共通化と再利用性

PMXはマニュアルコンテンツを「トピック」という部品単位で制作し、「マップ」でトピックをマッピングすることで一冊のマニュアルとして作成（トピックライティング）します。そのため以下のようなことが可能となっております。

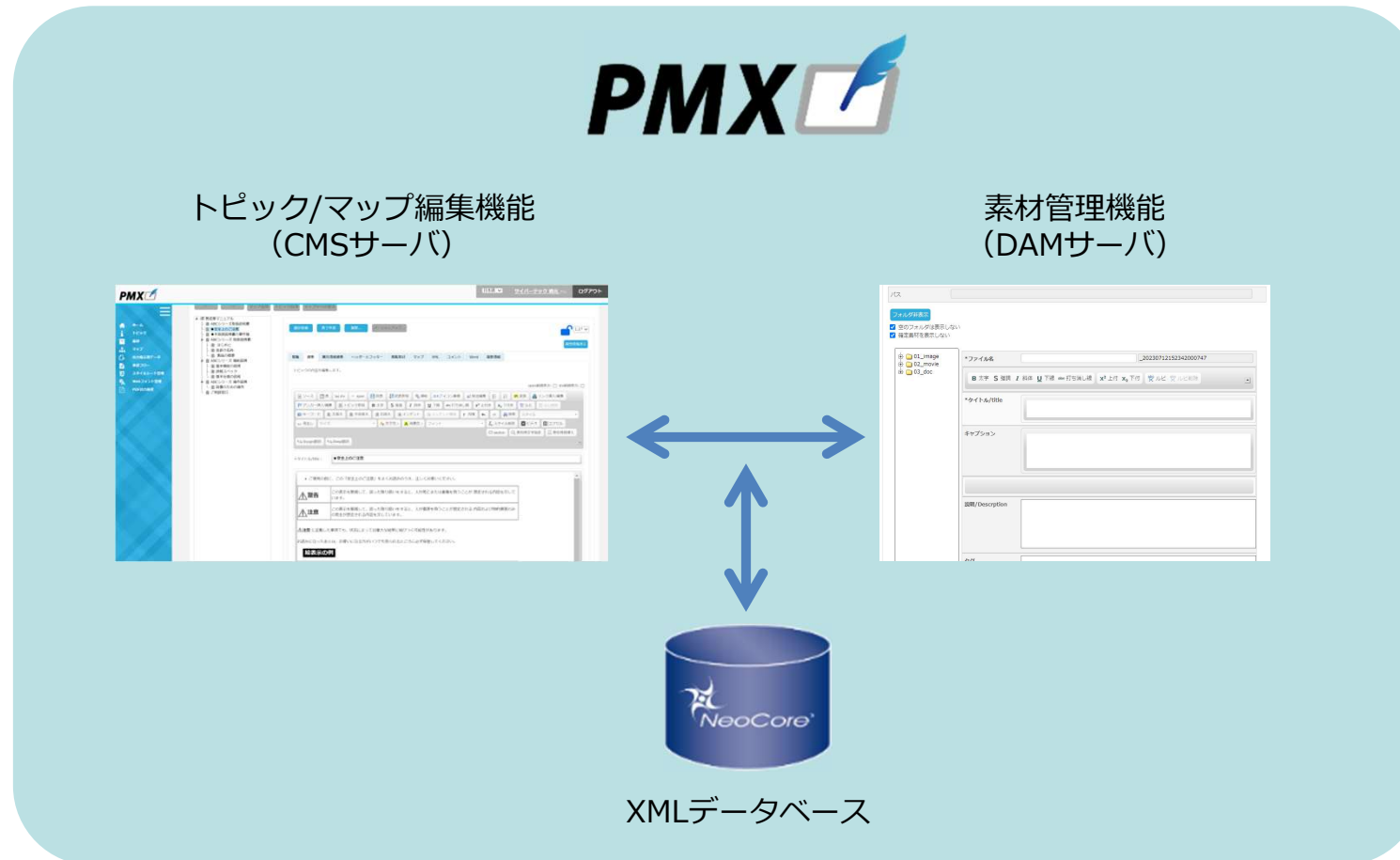
- 過去に作成したトピックをそのまま再利用することが可能です。
- 複数のマップから参照しているトピックを更新すると、全てのマニュアルに対し一括更新が可能です。 ※設定により、特定のマニュアルのみ一括更新の対象外とすることも可能です。
- PMX上でトピックを複製した上で一部のみ変更する形での流用が可能です。
- 過去のトピックを組み合わせた「スタートアップマニュアル」「クイックリファレンス」といったドキュメントを、マップの編集のみで作成できます。
- 10万件以上のトピックデータの管理実績もあり、十分なパフォーマンスが発揮できます。

マニュアル用CMSとして見た「PMX」について

■ DAM的な視点～素材管理について

- PMXはDAM（デジタルアセットマネジメント）機能を搭載しており、画像や動画といったマニュアル制作で利用する素材を管理する機能が充実しています。
- HTMLマニュアルではイラストをJPG等に変換して利用しますが、作成したAI形式などの元データも一緒に管理することが可能です。
- エクスプローラー風のUIを用意しており、どなたでもカンタンな操作で素材データを管理することができます。
- 素材データに検索用のタグ情報（属性情報）を付与できますので、素材の数が増加した場合であっても、タグ検索により目的のデータを探すことができます。
- 6万件以上の素材データの管理実績もあり、十分なパフォーマンスが発揮できます。

マニュアル作成支援システム「PMX」構成図



素材管理サーバ（DAMサーバ）のみの個別提供も可能です。

※利用可能機能：多言語素材管理・タグ検索（属性情報検索）・元データ管理・派生素材管理など

PMXの強み～製品面

PMXは **100%自社開発の製品** となっており、
以下の点において日本国内企業様を中心に好評価を頂いております。



- 豊富なオプション機能は後から追加が可能であるため、**スモールスタート**に適しています。
- 日本企業につき、**国内ユーザからのご要望を最優先**に対応しています。
- 自社開発製品のため、ご要望に応じた機能を**柔軟に追加可能**です。
- バージョンアップを毎年行い、**継続的な機能強化**を実施しています。
- スタイルシートは**お客様による修正や開発**が可能です。

PMXの強み～サポート面

PMXは **100%自社開発の製品** となっており、
以下の点において日本国内企業様を中心に好評価を頂いております。



- 制作会社ではなく開発会社なので、お客様対応はIT製品ベンダーとしてしっかりと実施いたします。
- 三井物産のサポート品質。同社から事業譲渡を受けたXMLデータベース製品「NeoCore」と同様のクオリティでご提供しております。
- 頂いたお問い合わせは当日中に一次回答。制作の手を止めない、国内メーカーとして、スピーディな技術サポートをご提供しております。
- 既存データの移行作業などは、リーズナブルな 弊社オフショアサービスを活用頂けます。

マニュアル用CMS「PMX」の導入は…

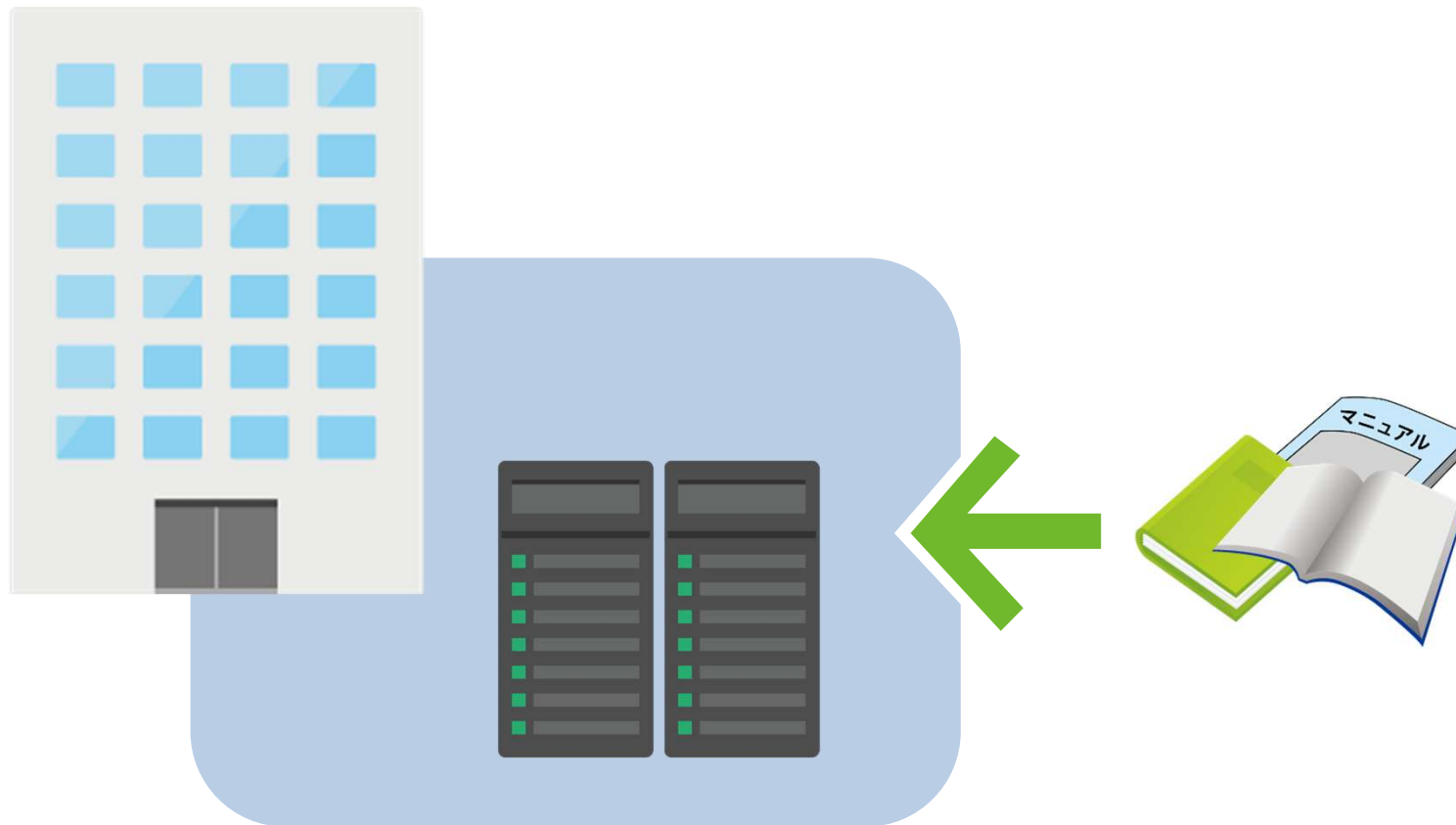
トリセツはセキュアなクラウドに！



クラウドは不安
⇒ 固定IPによるアクセスで逆に安心！

マニュアル用CMS「PMX」の導入は…

オンプレやプライベートクラウドも大丈夫です！



マニュアル用CMS「PMX」料金体系

100,000 円 / 月 ネームドプラン	200,000 円 / 月 フローティングプラン	ASK 円 / 月 カスタマイズドプラン	※1
---	--	--	----

ユーザ数	5 (ディレクター1、ライター1)	100 (ディレクター1)	ASK	
同時アクセス数	同上	3 ※レビューワーは除く	ASK	
初期トピック数	5000	10000	ASK	※2
初期ディスク容量	10GB	30GB	ASK	※2
管理者権限	—	●	●	
カスタマイズ対応	—	—	●	
オンプレミス対応	—	—	●	

作成可能となるマニュアルの冊数、および出力済マニュアルの閲覧可能ユーザ数に制限はありません。

ネームドプランとフローティングプランの費用には、クラウド基盤利用料も含まれます。

※1 年間一括のお支払いとなります ※2 追加費用は5000トピックごとに1万/月、20GBごとに1万円/月となります (いずれも税別)

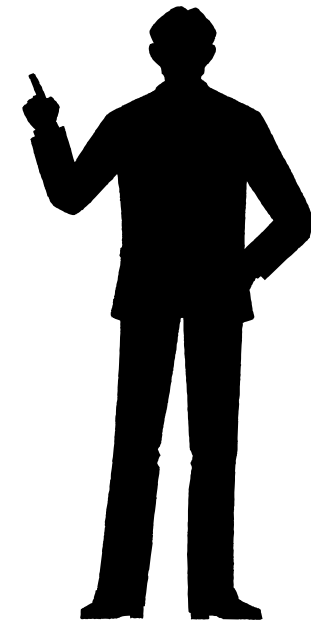
マニュアルCMSの導入に際して、お伝えしたいこと

Small Start

メリット・デメリットは
バーターと捉えて
「スモールスタート」



PMX導入事例



PMX導入事例（エレコム様）

パソコンおよびデジタル機器関連製品の開発販売を手掛けるエレコム株式会社では、個人向け商品で印刷用とWeb用のHTML形式のマニュアルの両方を提供してきたが、特にHTMLマニュアルをフルスクラッチに近い制作手法で行うことは提供スピードだけでなく管理工数や制作工数の増大といった面で課題となっていた。そこで機能とコストの両面で同社の要求水準を満たし、柔軟な出力テンプレート作成も可能である「PMX」を採用することとなった。

項目	内容
業態	パソコン及びデジタル機器関連製品の開発、製造、販売
従業員数	1,936名（連結）
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	3
対象マニュアル	自社製品の取扱説明書
導入の目的	- HTMLマニュアルの制作全体の効率化 - 自社だけでなく協力会社も簡単にアクセスして制作できるようにする
導入後の効果	- 多言語版一括出力機能などでこれまで手動で行ってきた作業の自動化が達成 - マウスなど同一カテゴリで展開している製品のコンテンツの部品化。共通化を実現 - Webサーバーへの機能追加無しでマニュアル検索機能を実現

PMX導入事例（スカイコム様）

ソフトウェア開発、販売を行っているスカイコム様では、製品のマニュアルをWordで制作し、PDF形式で提供していたが、製品の種類や機能が増えるに従ってボリュームが増加したため、検索性や閲覧性の向上が課題となっていた。そこで、「オフラインでの検索機能がある」「スタイルシートを自社で開発可能」かつ自社の利用環境に最も合致する「PMX」を採用した。

項目	内容
業態	ソフトウェアプロダクトの開発・販売
従業員数	約80名
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	3
対象マニュアル	製品マニュアル（操作説明書、ユーザーズマニュアルなど）
導入の目的	- PDFより検索性、閲覧性に優れたHTMLマニュアルを効率的に制作したい - 今後増加するマニュアルを効率的に制作、管理する環境の導入が必要だった
導入後の効果	- HTMLマニュアルの提供によるお客様へのサービス向上 - 多言語管理機能で日英マニュアルを効率的に制作する環境を実現

PMX導入事例（A社）

家電製造業のA社では、自社製品の取扱説明書をPDFでサポートサイトに公開していたが、同社製品のユーザーである一般消費者はスマートフォンやタブレットで閲覧することも多く、視認性や検索性が課題となっていた。そこでPDFでの展開も維持しながら、レスポンシブデザインに対応したHTMLマニュアルも作成する事とし、コンテンツの部品化も行える制作ツールとして「PMX」を選定した。

項目	内容
業態	家電の製造・販売
従業員数	約6,000名
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	13
対象マニュアル	自社製品の取扱説明書
導入の目的	- PDFも残しつつ、HTMLマニュアルで顧客満足度を向上させたい - 製品共通のコンテンツについて部品化を行うことで効率化したい - 内製化に伴い、不明点はサポートをしてほしい
導入後の効果	- レスポンシブHTMLで検索性、視認性の高いマニュアルを提供 - 制作と並行してコンテンツの部品化も推進 - 並走型によるテクニカルサポートで、滞ることなく制作が進行

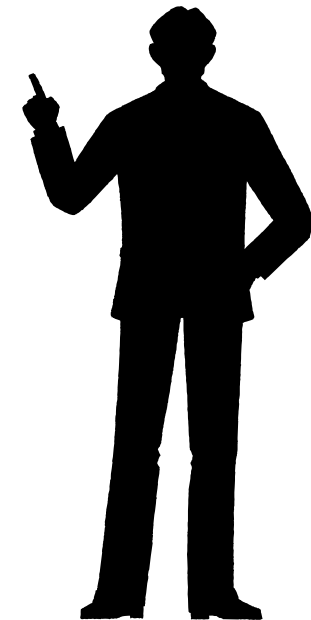
PMX7.0に向けて

- 現在、次期メジャーバージョンアップ版である「PMX7.0」を計画しております。
(2027年3月までにリリース予定)

- ☑ コンテンツロック方式の変更
- ☑ 管理者による複数トピックのロック解除やロック不可設定機能の追加
- ☑ 複数のPMXサーバー間のXMLデータ連携
- ☑ トピック、マップ、素材の属性項目カスタマイズ機能の強化
- ☑ 翻訳情報表示機能の強化
- ☑ 複数マニュアル一括出力機能



ドキュメント公開ポータル 「DocuPortal」



ドキュメント配布・公開方法 それぞれの課題

配布方法	課題・リスク
メール添付	・ 巨大なファイルは添付できない ・ 開封したかどうか不明 ・ 送信の手間がかかる ・ 送付先ミスによるトラブル ・ 送信の手間がかかる
ファイル転送サービス	・ 送信の手間がかかる ・ 送付先ミスによるトラブル
クラウドストレージサービス	・ 社内ファイル共有を想定した設計 ・ アカウント数が増えた場合のコスト大
郵送・ハンドキャリー	・ メディア作成までのリードタイムが必要 ・ 到着するまでのタイムラグが発生

「Webサイトによるドキュメント配布・公開」で解決！
それぞれのメリットとデメリットを次ページで説明します。



ドキュメントのWeb公開をするメリット

ドキュメントをWebで公開するメリット



◆ 配布工数の削減・ミス防止

⇒個別配信不要となるため、配信工数はゼロに。個別対応も不要となるため同時にミス防止にも！

◆ リードタイムをゼロに

⇒印刷不要、即時公開可能なのでお届けまでの時間不要なので、情報提供までのリードタイムはゼロに！

◆ 顧客満足度の向上

⇒顧客がどのドキュメントのどのページを見ているかを分析することで、サポート品質を向上。分析情報をマーケティングにフィードバック。

ドキュメントのWeb公開をする課題

一方で以下のような課題も...



◆ **客先ごとに閲覧可能なドキュメントが異なる**

⇒公開するWebサーバー側で対応が必要！

◆ **自社でサーバーから運用するのは負担が大きい...**

⇒既存製品のクラウドサービス活用で、素早くリーズナブルに実現可能！

◆ **大切なドキュメントをWebに置くのはセキュリティ面から不安...**

⇒どうしてもという場合は、オンプレでの導入も可能！

ドキュメント公開ポータル「DocuPortal」で解決！

WebCMSなどの汎用的な製品では、構築などが別途必要！

シンプル

機能を特化することで、リーズナブルかつ素早く導入可能！



「DocuPortal」はドキュメント公開専用のクラウドサービスです。皆様の製品やサービスに関連したコンテンツをセキュアなWebサイトで「**素早く・簡単・リーズナブル**」に情報公開ができます。

アカウントごとに公開するドキュメントを出し分けたい！

パーソナライズ

ユーザー単独や企業グループ単位でコンテンツ配信を実施！



登録コンテンツは個別アカウント単位やグループ単位での閲覧制限や、表示・非表示などの設定が出来ます。メタ情報を記載したCSVをご用意頂くことで、**複数コンテンツの一括アップロード**も可能です。

Webコンテンツを手軽にアップロードして公開したい！

自動解凍

Webマニュアルやオンラインヘルプは、自動解凍で即公開！



WebマニュアルやHTML形式のオンラインヘルプ、FAQなどはZIP形式で**アップロードするだけで自動解凍**。静的HTMLコンテンツとしてWeb公開されます。

ドキュメント公開ポータル「DocuPortal」

パーソナライズ設定

ドキュメント公開ポータル

取引先・サポート部門

権限管理

グループ管理

一括登録

シングルサインオン



マニュアルの「脱DTP・多言語化・マルチユース～公開」を実現！

分業化

多言語化対応・再利用

情報公開ポータル

閲覧

バージョン管理

権限管理

多言語素材管理

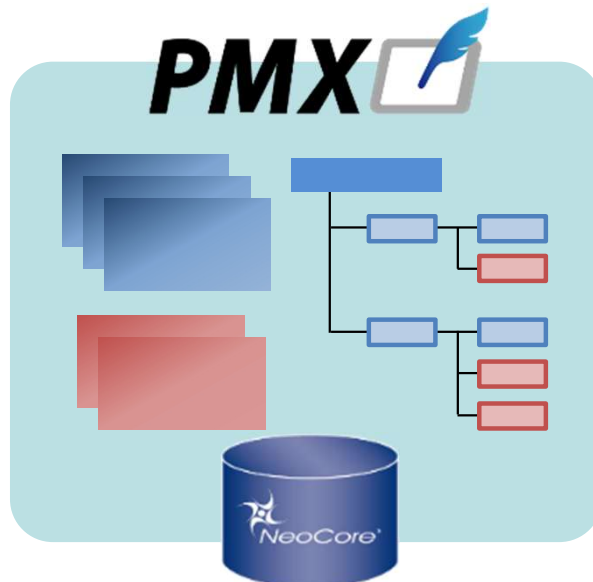
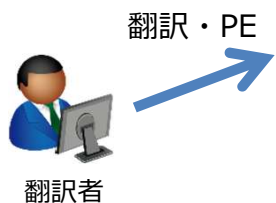
コンディショナル

権限管理

アクセス情報

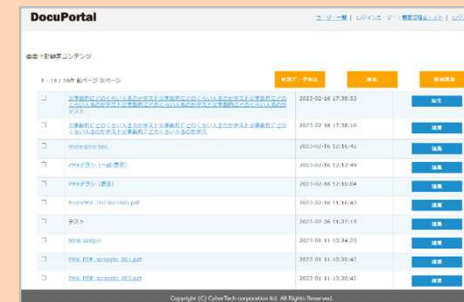
横断検索

SSO



ワンソース
出力

DocuPortal



公開



AI翻訳・
CATツール

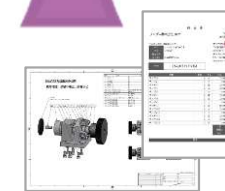


Google
Analytics4

アカウント管理



アップロード



「DocuPortal」 TOP画面

管理者は属性情報の
変更が可能

ZIP形式でアップロード後、
自動解凍

ドキュメントの
新規追加が可能

DocuPortal

サイト設定 | ユーザー一覧 | 属性マスター

検索 新規追加

	ドキュメント名	金額	取引先	属性	Description	登録日	
☐	PMXマニュアル (HTML版)			マニュアル	PMX操作マニュアル	2026-08-26	編集
☐	PMX操作マニュアル			指定なし		2026-05-27	編集
☐	【消さない】製造業マニュアル (HTML)			マニュアル		2025-12-29	編集
☐	【消さない】製造業マニュアル (PDF)			マニュアル		2025-12-28	編集
☐	【消さない】動画マニュアル			マニュアル		2025-12-26	編集
☐	【消さない】DocuPortal ボタン			素材データ		2025-04-08	編集

チェックされたドキュメントを [削除](#)

画面下部顧客コンテンツ

Copyright (C) CyberTech corporation Ltd. All Rights Reserved.

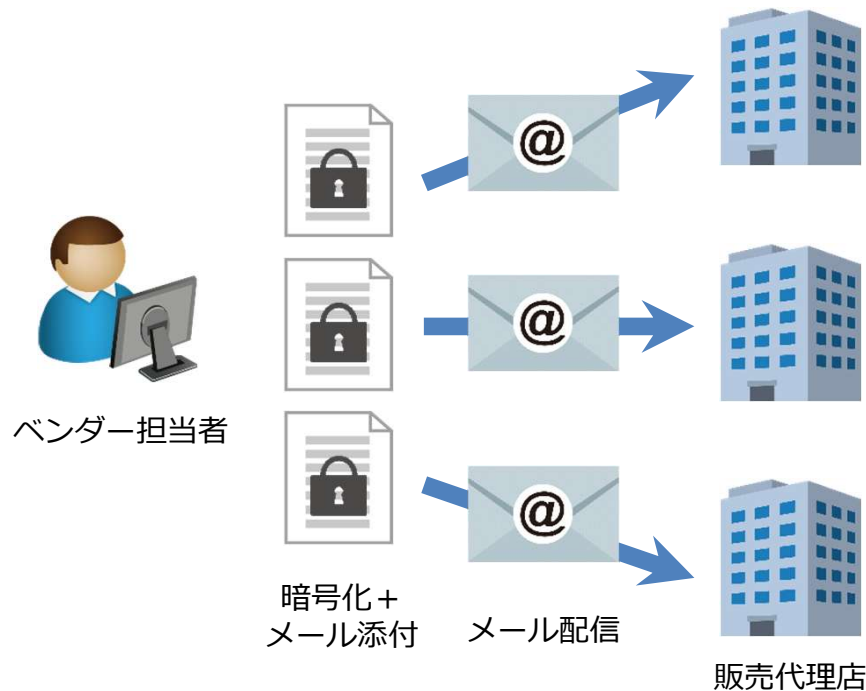
動画マニュアルも
公開可能

登録済のドキュメントは
権限を有するユーザのみ
修正・削除が可能

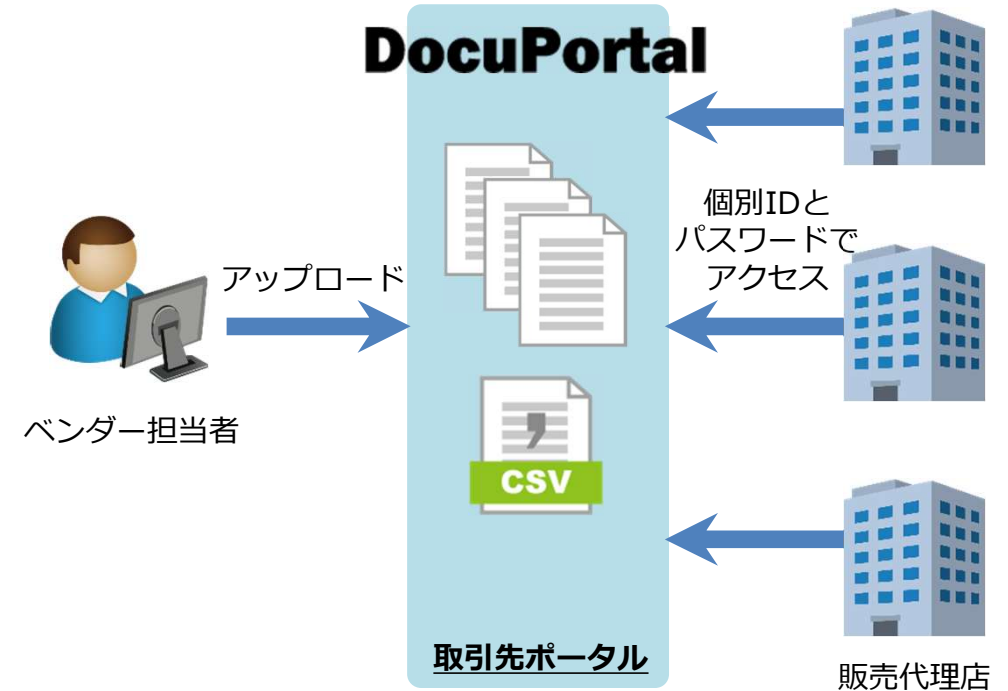
ユースケース① 多品種製造業から販売代理店向けに情報配信（メール）

- ベンダー側は、複数の販売代理店向けにそれぞれ異なるドキュメントを暗号化してメール添付で配信。
- 販売代理店には担当者が複数あり。
- 不定期で、全アカウントへの通達ドキュメントが存在し、メール添付で配信している。

Before



After



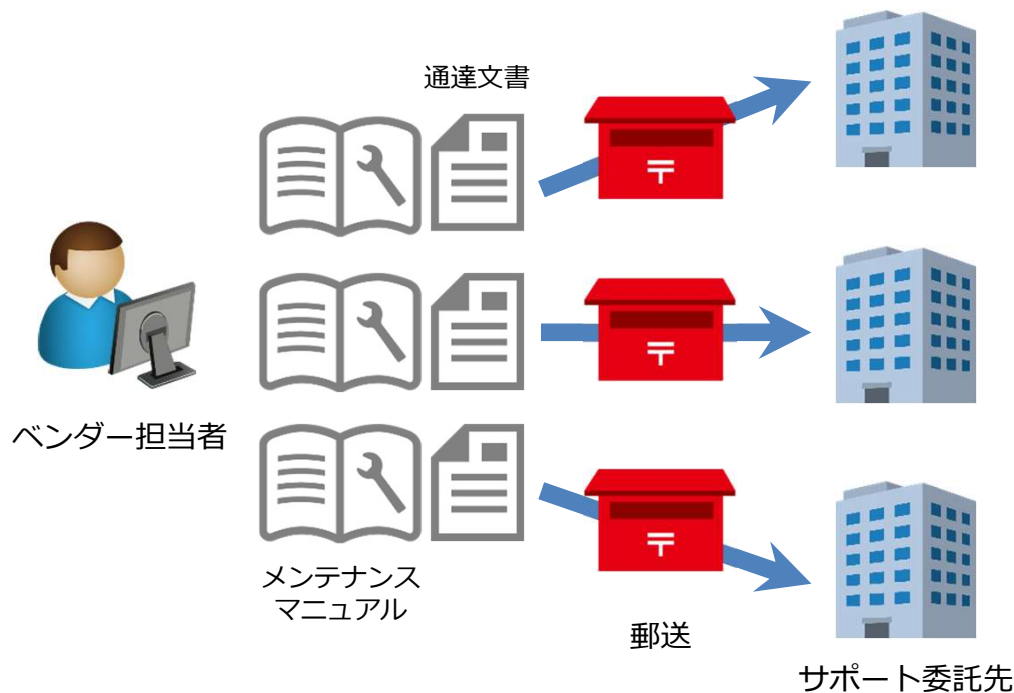
得られる
効果

①誤配信を無くす ②メールアドレスのメンテナンス業務を無くす ③全体工数の削減

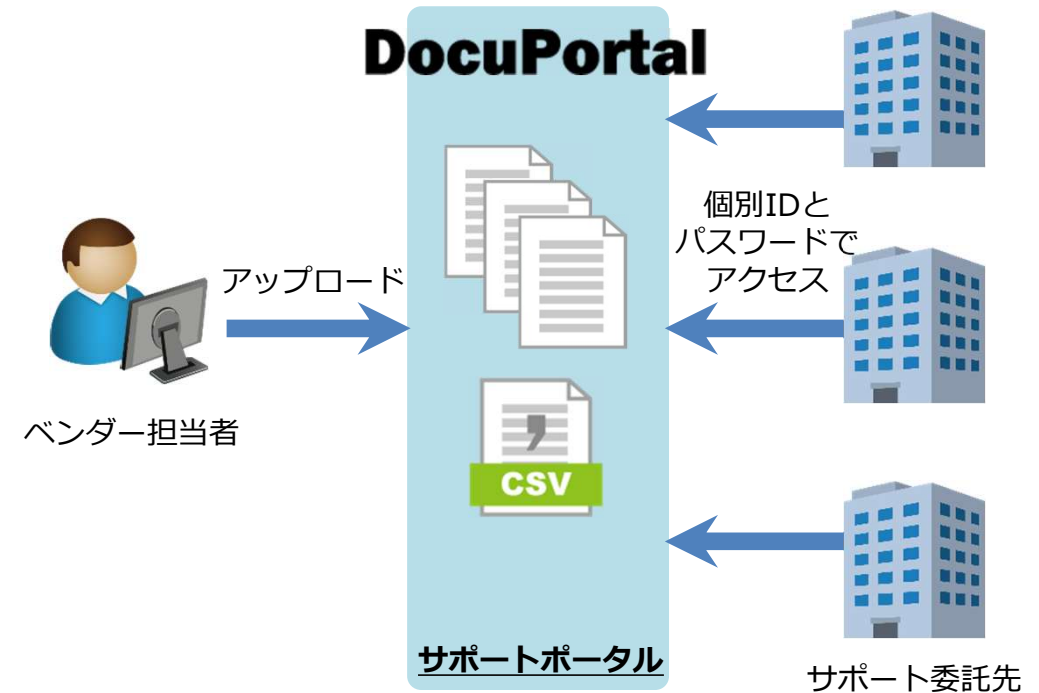
ユースケース② メンテナンス系ドキュメントの情報配信（紙）

- ベンダー側は、フィールドサポート業務委託先に対象製品のメンテナンスマニュアルを紙冊子で配布。
- 製品により発生する不具合情報などは、必要とされる配布先のみに通達している。
- サポート実施企業は、複数冊のマニュアルを受領後に社内展開を行っているため、タイムラグが発生。

Before



After



得られる
効果

①印刷～郵送コスト削減 ②サポート情報展開のスピードアップ ③マニュアルのオンライン化

「DocuPortal」 料金体系

	100,000 円 / 月 ベーシック	ASK 円 / 月 アドバンスト	※1
閲覧ユーザ数	100ユーザ	ASK	
管理者ユーザ数	ドキュメント管理者：1ユーザ 管理者：1ユーザ	ASK	
同時アクセス数	同上	ASK	※2
初期ディスク容量	10GB	ASK	
ドキュメント単位の閲覧制限	—	●	
ログイン時の二段階認証	—	●	
独自ユーザインタフェース	—	●	
オンプレミス対応	—	●	

※1 年間一括のお支払いとなります ※2 追加費用は20GBごとに1万円/月となります（いずれも税別）

ドキュメントのWeb公開なら「DocuPortal」で！

	スクラッチ開発	Web CMSを改造	DocuPortal 用途に特化した製品
自由度	◎ 任意の仕様で開発が可能	○ ある程度変更可能だが、CMSの仕様に引きずられる	△ 用途を絞っているので、ドキュメント公開以外の用途には不向き
セキュリティ	× 個別に対策を講じる必要がある	△ CMSと追加開発部分の両面で対策を考慮する必要あり	◎ ベンダーが全て一括担保するので安心
費用	× スクラッチ開発は高額になりがち	△ OSSのCMSもあるが、追加開発部分は費用がかかる	◎ 機能が充足していれば、一番リーズナブル

DocuPortal なら...

- ・ 国産ベンダーのシステムなので、安心・安全！
- ・ オンプレ導入など、ご要望に柔軟に対応！

DocuPortal バージョンアップ予定

■ DocuPortalの次期バージョンでは、以下の機能強化を予定しています。

☒ ファイル一括アップロード機能

☒ パーソナライゼーション機能の強化

☒ ユーザー管理機能の強化

☒ 属性情報カスタマイズ機能

Ver. UP!

オンラインセミナー告知

ロゼッタ × サイバーテック 共催セミナー

**グローバルの販路拡大は、
社内に眠る製品情報のマルチ展開から**

——日本企業の「マニュアルDX × 専門AI翻訳」戦略

開催日：2026年10月1日（木）12:00～13:00

お問い合わせ先



Manual & Web Solutions

株式会社サイバーテック

<https://www.cybertech.co.jp/>

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-1

Osawa Bldg.5F

TEL. 03-5457-1770

E-Mail : mitsuhiko.toda@cybertech.co.jp

※ ここで使用されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。



社長からの メールによるご案内、
毎月お送りしております！